診断なら　2014 年夏号

－　目 次　－

◆ ご挨拶 …… 1
◆ 奈良県中小企業診断士会第３回定時総会報告 …… 2~4
◆ 理事担当職務紹介 …… 5
◆ 新理事紹介 …… 6~7
◆ 活動報告
　奈良市保健福祉部
　　「市内障害者就労施設等が提供可能な授産品等の調査業務」報告 … 8~10
　奈良県立図書情報館「体験セミナー＆無料経営相談会」実施報告…… 11~13
　第一回若手中小企業診断士シンポジウム　開催報告！ …… 14~15
◆ トピックス
　「奈良まほろばソムリエ検定」に合格！…… 16
　永年会員表彰 …… 17
　第 23 回診友会開催報告 …… 17
◆ 各研究会活動状況 …… 18~19
◆ 新入会員自己紹介コーナー …… 20~23
◆ 奈良士会行事開催予定 …… 24
◆ 編集後記 …… 24

ご挨拶

～さらなる成長と飛躍に向けて！

奈良県中小企業診断士会
副会長　渡辺淳

仕事終わりのビールがとても美味しい季節となりました。会員の皆様におかれましては、ゲリラ豪雨にも負けず、台風にも負けず、夏の暑さにも負けぬ丈夫な心と体で、日々中小企業診断士としてご活躍のことと拝察申し上げます。

今年度、奈良県中小企業診断士会は一般社団法人として 3 期目を迎えることができました。2 期目となった昨年度は、行政、中小企業支援機関、日本政策金融公庫、地域金融機関等からの多くの受託事業に積極的に取り組み、会員の皆様のビジネス機会の創出を実現することができました。特に奈良市保健福祉部「市内障害者就労施設等が提供可能な授産品等の調査業務」事業においては、当会として初めて 5 名の労働者を雇用して事業を推進するなど、これまでにない新たな取り組みにも挑戦して参りました。これらの受託事業を滞りなく完遂することができましたのも、会員の皆様の積極的な事業へのご参画と、献身的な協力の賜物と感謝しています。

3 期目となる今年度も、会員の皆様がその持てる才能を存分に発揮し、活躍できる場を創出していくために、奈良県内の中小企業支援機関との連携をこれまで以上に深めるとともに、人的ネットワークの関係性を強化していくことで、引き続き受託事業の獲得に向けて取り組んでいきます。また、高度なスキルが求められつつある受託事業の品質向上のために、会員の皆様が保有するスキルの見える化も図っていきたいと考えています。

内部的には、資格更新要件である理論政策更新研修と診断実務従事事業、プロコン育成塾の開催を例年通り予定しています。加えて、昨年度は残念ながら実施できなかった調査研究事業の実施や、昨年度に新たに発足しました「セミナー・研修研究会」ならびに「マーケティング研究会」を含めた 6 つの研究会事業の活発な活動に対する後方支援も行ってまいります。

中小企業・小規模事業者とともに、私たち奈良県中小企業診断士会もさらなる成長と飛躍を遂げたいと思います。3 期目となる今年度も、引き続き、皆様のご支援と積極的な事業へのご参画をよろしくお願い申し上げます。

奈良県中小企業診断士会

第３回定時総会報告

理事　佐伯　眞

平成 26 年 6 月 6 日（金）午後 5 時 15 分から午後 8 時まで、奈良市下三条町にあるホテルフジタ奈良「ガーデンルーム」で第３回通常総会及び懇親会を実施しました。参加者は、総会で会員 32 名、懇親会で 31 名でした。来賓は奈良県信用保証協会会長上森様、奈良県中小企業団体連合会専務理事橋本様、奈良県産業振興総合センター所長兼奈良県地域産業振興センター専務理事村上様、奈良県産業振興総合センター創業・経営支援部長桝井様、株式会社まちづくり奈良代表取締役社長、もちいどのセンター街協同組合理事長松森様、一般社団法人大阪府中小企業診断協会理事長福田様、日本政策金融公庫奈良支店支店長・国民生活事業総轄山本様、奈良市中心市街地活性化協議会事務局長花村様、の 8 名並びに取材でお越しいただいた奈良新聞社久後記者に、ご参加いただきました。特に今回はご来賓全員が総会から懇親会の最後まで、参加いただいたため、非常に有意義で引き締まった会となりました。

総会では、森会長の挨拶のあと、診断士会員として、長くご活躍された植田義人会員、久家康男会員に対して、永年会員表彰を行い、参加者全員から功労への温かい拍手がありました。その後、ご来賓全員の紹介の後、上森会長と橋本専務理事から、奈良県の経済状況と診断士会への期待の言葉をいただきました。

議案の審議では、第一号議案平成 25 年度事業内容と会計報告を、森会長と渡辺事務局長が行いました。受託事業では、特に奈良市保健福祉部「市内障害者就労施設等が提供可能な授産品等の調査業務」事業の説明があり、初めて士会として、職員を雇用して調査等を実施したこと等、新しいチャレンジがあり、結果としても外部から評価され、士会としてもノウハウの構築につながったという報告がありました。そして懸案事項であった士会のホームページを平成 25 年 7 月に全面リニューアルし、また機会あるごとにプレスリリースによる広報を実施したという報告がありました。特に質問や意見はなく、全会一致で承認されました。

第二号議案では平成 26 年度事業計画案について、審議されました。事業では前年度同様会員が持てる力を十分に発揮し、社会に貢献するビジネス機会を創出するため、奈良県内の支援機関との連携を深め、受託業務の獲得に取組み会員のビジネス機会の拡大を図ることの提案がありました。今年度も会員一丸となって受託業務等を遂行するため、事業部制運用停止、ただし、高度なスキルを求める事業に対応するため、参画を希望する会員のスキルのチェックとデータベース化を図るとの提案がありました。森会長から、診断士会として、奈良県等に対してよりグローバルな提案等（リニアモーター新駅誘致に関わること等）へのより積極的な取組みと渡辺事務局長からは、事例を交えて、前年実施しなかった調査研究事業は、奈良県内外から注目されており、士会の社会的地位を上げるためにも積極的に取組む必要があることの説明がありました。第二号議案の事業計画案及び収支予算案も全会一致で承認されました。

第三号議案の役員改選については、8 人の理事と 2 人の監事の留任と藤井会員と徳南会員に替わる岸克行会員と本田秀次会員が新たに新理事として承認されました。

総会後に、引き続き行われた懇親会では、大阪府中小企業診断協会福田理事長、(株)まちづくり奈良松森社長のご挨拶をいただき、奈良県地域産業振興センター村上専務理事の乾杯のご発声で、開催されました。会員を始め、ご来賓の方々もテーブルを離れ、積極的に話をされ、例年にはない非常に盛り上がった懇親会となりました。中締めには日本政策金融公庫奈良支店山本支店長にしていただき、奈良県内経済及び企業等、診断士会の更なる活性化、成長を誓いあいました。

2014年度理事担当職務紹介

部　門	内　容	担当理事	備　　考
総務担当	事務局	渡辺武久	
	経理処理	渡辺武久	
	組織管理	渡辺武久	
	関係組織管理	渡辺武久	
	会員管理	渡辺武久	
	メーリングリスト	渡辺淳	士会、理事会
	経営革新等支援機関 認定申請の検討	佐伯	認定のﾒﾘｯﾄ･ﾃﾞﾒﾘｯﾄを検討
	地域ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ参画の検討	佐伯	参画のﾒﾘｯﾄ･ﾃﾞﾒﾘｯﾄを検討
会員担当	総会	佐伯	H26は堀越がバックアップ
	新年互礼会	原田	
広報担当	ＨＰ	渡辺淳	
	パンフレット	松山	
	会報誌	松山	
	企業診断ニュース	松山	
研修担当	理論政策更新研修	佐伯	H26は堀越がバックアップ
	実務従事研修	北川	
	プロコン育成塾	北川	
受託事業担当	まちづくり奈良セミナー等	北川	個別相談会を含む
	再生支援協議会	森	会長職への依頼のため、森が担当
	ちゅうしんグッドサポート	森	
	信用保証協会専門家派遣	渡辺淳	
	創業支援ネットワーク	渡辺淳	
	日本政策金融公庫研修会等	佐伯	共催研修会が中心
	生駒商工会議所セミナー等	本田	
	大和高田会議所セミナー等	原田	
	設備資金貸付審査協力	原田	緊急時以外は役割なし
	奈良県制度融資審査協力	原田	緊急時以外は役割なし
	補助金申請アドバイザー	岸	
	中企連	渡辺武久	ハロー原稿
研究会・自主事業	調査研究事業管理	松山	実施有無から検討
	研究会管理	松山	

新理事紹介

今年度定時総会において、新しく２名の方々が理事に就任されましたので、自己紹介を兼ねて抱負を語ってもらいました。　　【50 音順】

【　岸　克行　理事】

残炎の候、会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。この度、理事を拝命しました岸 克行です。

様々な中小企業や支援機関などで今、中小企業診断士に対する期待の声が日増しに高まるのを感じています。これもひとえに奈良県中小企業診断士会の諸先輩先生方が築かれてきた実績のたまものと、大変感謝しております。

昨今、中小企業や商業者に対する積極的な補助金などが次々と登場しております。これ自体は誠に喜ばしい限りですが、助成金の獲得よりも実際に市場で評価を獲得し続けることが数十倍困難なことは言うまでもありません。だからこそ、診断士。今程、経営者に寄り添い事業の成長をサポートする我々が必要とされている時は無いと考えています。

奈良県中小企業診断士会と会員の皆様の発展に向けて、微力ながら一生懸命頑張りたいと思っております。今後とも皆様方のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

プロフィール

・1981 年同志社大学経済学部卒業
・同年　株式会社ヤラカス舘入社
・2011 年　岸中小企業診断士事務所　設立
・六次産業化プランナー
・ソーシャルビジネス/コミュニティビジネス アドバイザー
・ＮＰＯ法人 奈良まほろばソムリエの会 理事
・ＮＰＯ法人 農楽マッチ勉強会 副代表

【本田 秀継 理事】

はじめまして、この度理事に就任することになりました本田です。

理論政策更新研修が橿原で受けることができる！という安易な理由で大阪支部から移籍して早４年あまりが経ちます。そんな浅はかな私を理事にしようというのですから、奈良県中小企業診断士会の懐は何と深いことか！！と、驚くばかりです。

移籍後わずか４年ではありますが、その間、故石川前支部長及び森現会長を筆頭に、その他多くの先輩方にも大変お世話になってまいりました（随分とご迷惑をお掛けしました・・・）。

今こうして思い出すと、滝のように感謝の気持ちが込み上げてきます。
とは言え、思い出に浸っているほど人生を重ねてきたわけではありません。
これからはこのご恩に報いるべく、奈良県中小企業診断士会発展のため、一心精進で頑張る所存です。

奈良県中小企業診断士会には、経験豊富なベテラン診断士の方が数多くおられます。まだまだ力不足の私に、今後の診断士会発展に向けたアドバイス等を頂戴出来れば幸甚です。　皆さま、どうぞよろしくお願い致します。

プロフィール
・1966 年 1 月 12 日 桜井市生まれ
・1988～2001 年：繊維製品製造会社(中小企業)勤務
（実務経験：資材・生産管理、営業）
・2002～2006 年：大原簿記法律専門学校勤務（中小企業診断士専任講師）
*2004 年から、名刺に“炎のコンサルタント”を付ける
・2007 年：中小企業診断士として独立～「真秀経営相談所」開業
・2011 年：リフレクソロジーサロン「真秀堂」開店
(mail) mahodo@fire-con.jp

活動報告

奈良市受託事業「市内障害者就労施設等が提供可能な授産品等の調査業務」報告

理事　本田 秀継

平成 25 年 11 月 1 日から平成 26 年 3 月 15 日までの 4 ヶ月半で、奈良市から受託した「市内障害者就労施設等が提供可能な授産品等の調査業務」を遂行しました。

＜受託に至った経緯＞

奈良市では、障害者調達推進法（国等による障害者就労施設からの物品等の調達の推進に関する法律）の施行を受け、各施設の実地調査を行い、経営・商品開発・品質において専門家によるアドバイスを受けることで、授産品・役務の販路拡大及び工賃向上に繋げられるよう支援することにしました。そして、この業務を奈良県緊急雇用創出事業補助金の対象となる重点分野雇用創出事業として実施することにし、業務委託すべく一般公募を掛けましたが応募企業が全くなかったため、当士会会員の梅屋様を通じて当理事会に打診がありました。

ちなみに奈良県緊急雇用創出事業補助金とは、離職を余儀なくされた非正規労働者及び中高年齢者等失業者の生活の安定を図るため、市町村が行う短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業に対して補助金を交付するものです。

但し、補助金を受け取るためには、事業費用の半分（今回の場合は 880 万円の内 440 万円）以上を新規雇用者人件費にあてる必要があるため、新規雇用者の確保及び業務管理が重要になります。

＜事業遂行＞

一般企業とは違い、当診断士会には既成の雇用ルールが無いため、ハローワークへの公募から社会保険等の加入手続き、労働契約書等の作成といった事務作業・手続きを一から行う必要がありましたが、これら業務を全て社労士でもある徳南前理事にお引き受け頂くことができました。また、補助金事業であることから膨大かつ厳密な書類管理が必要となりますが、これら経費・支払関連

事務は全て書類管理のプロである当士会理事渡辺事務局長にお願いできることになりました。中小企業診断士が実際に事業を遂行するためには、その他の士業等の外部ブレイン専門家が果たす役割は大きく、外部ネットワークの重要性を再確認するとともに、奈良県中小企業診断士会のチームワークと多様性を頼もしく実感できた機会でもありました。

また、事業の中核である障害者就労施設へのヒアリング訪問及び改善提案報告書の作成は、急な打診で公募する余裕もなかったため、社会福祉法人関連に精通した当士会理事の方々にお願いすることができ、ここでも診断士会の多様な専門性に助けられました。

そして肝心の私はと言いますと、大変な業務を全てお任せすることができたお蔭で、業務用事務所の賃借や新規雇用者のマネジメント、事業進捗管理、奈良市との折衝、その他雑用等に徹することができました。目を閉じると、クリスマスや誕生日のケーキパーティや最終日お昼のピザパーティ等、新規雇用者との楽しい思い出がよみがえります(笑)。

ちなみに新規雇用者は5名で、その属性は50代男性が2名、40代女性と男性が各1名、そして20代女性が1名でした。皆さん揃って真面目で、各々違った得意分野を持った良い人ばかりでした。

＜事業の結果＞

調査前に奈良市から預かったリストには 58 事業所が掲載されていましたが、その内、実際に事業を行っており、かつ、先方からの辞退もなく実地調査を行えたのは32事業所でした。実地調査にあたり、奈良市から指定された必須調査内容は、①製品名及び作業名②単価③製品・作業の具体的内容④生産能力及び作業量⑤備え付けている製造機器及び作業道具⑥従事者数⑦売上高⑧その他となっており、調査票の設計にあたっては⑧その他の内容を如何に充実させつつもヒアリング量が過大にならないようにするかが課題でした（もちろん、この課題は経験豊富な森会長に解決して頂きました)。参考までに、その調査票について少しだけご紹介しておきます。事業所の状況を定量化するため、①事業推進力②事業管理能力③販売力④生産力⑤管理者のモチベーション⑥作業員のモチベーションの 6 項目を 5 段階で評価することにしました。また、定性評価項目としては、事業所の母体（社会福祉法人等）の状況と当該事業との関係や理念、ビジョン、強み・弱み、今後の目標・希望、問題点等を追加しました。定量評価の結果からは、各評価項目の点数が高いほど、売上金額も高いという正の相関関係が見られ、項目別には販売力と生産力に課題を抱えている事業所が多いことが見て取れました。紙面と守秘義務の都合により、各事業所に対する提案報告は割愛しますが、全事業所を俯瞰すると、障害者就労施設の中でもそ

の収益力や事業規模は千差万別、いや、二極化していると言った方が適切かもしれませんが、収益が高く、事業として成り立っている事業所では人材のモチベーションが高まり、事業改善や能力強化に結びつくことで更に収益が増加している一方で、収益が低い事業所では人材のモチベーションが低く、管理者も方向性が見いだせないままいたずらに疲弊しているようでした。分析の結果、その二極化の分岐売上高は約 100 万円(年間)であり、まずは年間売上高 100 万円を目指すよう報告書に記載されました。

奈良市から指定された当該業務の成果物は、「奈良市内の障害者就労施設が提供可能な授産品等一覧表（通称　授産品・サービスカタログ)」および「調査報告書」の 2 点で、当然ながら「調査報告書」を診断士、「カタログ」を新規雇用者の主要業務として割り振りました。

「調査報告書」は、ベテラン診断士各位の実力で速やかに上がって参りましたが、「カタログ」を担当した新規雇用者は、慣れない画像処理ソフトに悪戦苦闘しながらも、事業所担当者との度重なる写真や文面のやり取りを通じて、着実にスキルを磨けた模様です。

その証拠として、雇用者アンケート(抜粋)では、①本事業は自身に役だったか否か：大変役に立った 4 名、役に立った 1 名、②役だった理由：仕事内容が合っていた 3 名、経験・技能の蓄積に役だった 2 名という結果が出ています。

＜最後に＞

当事業を遂行するにあたり、補助金事業において事業受託団体である当士会から会員の中小企業診断士にフィーを支払う際、その根拠となる証拠書類が求められる可能性が高いということ、また経産省関連以外の公務員を始め、中小企業診断士の持つスキルや仕事内容を知らない人がまだまだ多いということを実感しました。これらを踏まえ、当士会においてベースとなる謝金ルールのようなものを作成することは、新たな事業を獲得する際の折衝が早くなるだけでなく、中小企業診断士の知名度と社会的地位を高めるためにも良いことではないかと思いました。

最後になりますが、今回このような機会を与えて頂き、関係各位の多大なるご協力のお陰で無事に補助金が振り込まれ、プロジェクト担当者として何ら責任を問われることもなく事業を完了することができました。

まずは心より感謝申し上げます。そして今後も奈良県中小企業診断士会という頼れるバックボーンがある限り、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思います。

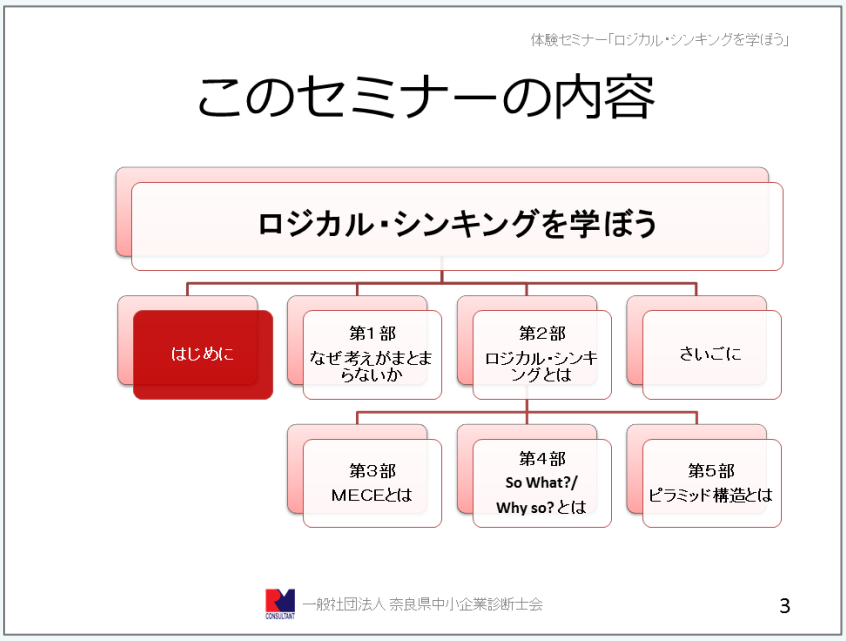
奈良県立図書情報館

「体験セミナー＆無料経営相談会」

実施報告

会員　深谷 繁

前回（2014 年新年号）の「診断なら」でご報告をいたしました通り、当研究会では奈良県立図書情報館様との共催で、昨年 12 月、本年 1 月、2 月に合計 3 回「中小企業診断士による体験セミナー＆無料経営相談会」を行いました。この催しは、当研究会のメンバーのうち、岡本友宏氏、香川登志雄氏、山路浩之氏と深谷の４名が担当しました。内容は二部構成とし、第一部（３時間）で「ロジカル・シンキング」に関するセミナーを開催し、その後に第二部（２時間）で経営相談会を行いました。



前回ご報告しました通り、昨年 12 月 14 日（土）に第 1 回目のセミナーと相談会を行いました。第一部のセミナーには 5 名の方、第二部の経営相談会には 1 名の方が来られました。

引き続いて第 2 回目は 1 月 18 日（土）に開催しました。この日は第一部のセミナーに 4 名、第二部の経営相談会には 1 名の方が来られました。第 1 部のセ

ミナーは前回の反省を踏まえて、前回の内容の難度をやや高め、チーム演習の問題にも難しいものを加えてみましたが、最後は駆け足気味になってしまいました。

第3回目は2月16日（日）に開催しました。この日は第一部のセミナーに9名、第二部の経営相談会には1名の方が来られました。セミナーでは2つのチームに分かれて演習問題に取り組んでいただきましたが、これまでより人数が多く、最も盛り上がったように感じられました。ただし演習問題については、前回までの反省を踏まえて解答手順を詳しく示したつもりでしたが、なおも時間不足になってしまいました。問題の作り方や解法の説明は、経験の積み重ねが必要だと痛感しました。

セミナーについては、毎回、ご来場の方にアンケートに答えて頂きました。このアンケートにはオブザーバー聴講してくださった奈良県中小企業診断士会の方からも回答があり、全部で20通を回収しました。アンケートの概要は次の5点に集約できます。

【参加者の職業：会社員（9名）、自営業（3名）、主婦（2名）、学生（1名）、その他（5名）】

①セミナーの目的としては、「ロジカル・シンキング」に興味がある（14名）、自己研さんのため（12名）、仕事に役立てたい（7名）、中小企業診断士の話に興味がある（4名）の順であった。

② このセミナーの開催を知った手段としては、図書情報館のチラシ（14 名）が圧倒的に多く、県内外の図書館や中小企業診断士会のホームページで知った人（7 名）もあった。

③セミナーの評価は、「わかりやすかった」が 14 名、「ややわかりやすかった」が 5 名、「やや難しかった」が 1 名であった。セミナーの時間は 19 名の方が適当、1 名の方が短かったとの評価であった。

④今後同様のセミナーを開催するとしたら、また参加したいと言う方が 18 名、参加するかどうかわからないと言う方が 2 名であった。

⑤中小企業診断士の活動について、10 名の方は知っているとのことであったが、9 名からは知らなかったと言う回答を頂いた。

今年度（平成 26 年度）の催しについては、秋から冬にかけて昨年度と同様の催しを行うことを目指して、奈良県立図書情報館様と協議中です。
図書情報館では、司法書士、社労士や行政書士の方々のセミナーや相談会も定期的に行っていますが、ほとんどのセミナーは講師が話をするだけの講義形式です。このセミナーでは、チーム演習を採り入れています。当日に初めて顔を合わせる方がほとんどですが、チーム演習を始めると、短時間で打ち解けた議論に入って行かれました。この催しは、中小企業診断士の認知を広げ、地域の方々と交流できる貴重な機会にもなっていますので、今後も継続して開催し、内容を高めて行きたいと思っています。

若手診断士×若手診断士＝∞
第一回若手中小企業診断士シンポジウム
開催報告！

若手中小企業診断士シンポジウム実行委員
永田　拓也

6 月 14 日、土曜日。梅雨入りを感じさせない眩い日差しが降り注ぐ京都。若手診断士が一堂に会する『第一回若手中小企業診断士シンポジウム』がホテルグランヴィア京都にて開催されました。東は宮城、西は宮崎から、総勢 182 名の中小企業診断士が集まり、【若手診断士×若手診断士＝∞】と掲げたキャッチコピーの通り、新しい繋がりが新しい価値を生む可能性を実感できるイベントとなりました。

当イベントは、基調講演・ディスカッション・診断士グループの活動報告からなる第 1 部と、懇親会である第 2 部の 2 部構成にて開催されました。

【第 1 部】

基調講演は、京都で唯一の和傘屋として生き残り、自社の強みを徹底的に見出して世界の市場に打って出ている 株式会社 日吉屋の西堀社長に登壇頂きました。和傘市場の急激な落ち込みという経営環境の中、西堀社長は和傘の技術や構造に着目し、ユニークという付加価値と伝統技術との融合により、現代の生活様式にマッチした全く新しい商品を開発しました。具体的には傘の伸縮性や和紙の温かさを活かした照明の開発です。その斬新さは海外の展示会でも好評を博し、着実に企業のブランド力を高めています。革新により厳しい経営環境を打破している当事例は、企業内・独立系にかかわらず非常に多くの参加者の感銘を得ました。

続いては、「日吉屋の更なる挑戦に向けた人材の確保と育成について」というテーマで、参加者を 8 人 1 組としたディスカッションを行いました。30 分という短い時間ではありましたが、最後に西堀社長に実際に提案を行うことができ

るということもあり、各グループで診断士として活発な議論が交わされました。

第１部の最後は診断士グループによる活動報告。京都のプロコン塾である「京都プロコンカレッジ」。企業内診断士会では最大規模を誇る「NEC グループ内診断士会」。全国各地のマラソン大会への出場を通じて、診断士の知名度向上に努めている「関西走る診断士の会」。全く趣向の違う３グループの発表は参加者が新しい取り組みを見つける一助となりました。

【第２部】

第２部はビュッフェ形式の懇親会。実は当イベントは第１部の受付時に「名刺交換は自身のキャッチコピーを添えて」というルールを設けていました。名刺交換を相手の人となりを知るきっかけとするためです。相手のキャッチコピーが印象的であれば、受付で配布した「いいねシール」をその人の名札に貼り、懇親会の途中で最多のシールを集めた方の表彰も行いました。

会場には協賛企業様にブースを用意頂きましたが、どのブースも診断士の関心に的確にマッチした内容ばかりでしたので、多くの方が集まり大変好評でした。私もいくつかのブースに顔を出しましたが、診断士として成長するための手段を多く知ることができたので、大変有意義な時間となりました。

２時間の懇親会はあっという間に過ぎましたが、懇親会中は所々で多くの「新しい出会い」が生まれている様子を目で確かめることができました。中小企業診断士が団結すれば、大きなパワーを生み出すことを改めて実感しました。

＜編集後記＞

当イベントの企画が動き出したのは実は 1 年ほど前からです。大阪・兵庫・京都・滋賀・和歌山・奈良の関西の各支部からメンバーが集まり、試行錯誤をしながらこの日を迎えました。イベント自体もですが、運営の中でも「診断士の繋がりは無限の可能性がある」と感じることができました。それぞれのバックグラウンドは違っても、中小企業を、ひいては日本を良くしたいという想いをもった繋がりは『中小企業診断士ならでは』だと思います。今回のイベントが新しい価値を生むきっかけの一つとなれば、この上ない幸いにございます。

トピックス

「奈良まほろばソムリエ検定」に見事合格！

当会会員の徳南毅一氏と橋本篤実氏のお二人が今年度の「奈良まほろばソムリエ検定」（通称奈良検定）の最高位である「奈良まほろばソムリエ」に見事合格されました。この検定試験は皆様もご存知のようになかなかの難関であり、お二人のチャレンジ精神と結果に対して脱帽です！　　【文責：松山】

お二人を代表して徳南氏の提言・・・診断士ソムリエの輪を広げよう！！
現在のソムリエはボランティア活動に従事していますが、これでは奈良にお金が落ちません。ボランティアは素人です。
ソムリエは観光産業振興のプロを目指すべきと思います。
合格を機に診断士の視点より、奈良の観光産業振興にいささかなりとも貢献したいと思っています。

「奈良まほろばソムリエ検定」とは・・・

奈良商工会議所が主催し、奈良県、奈良市、奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会が後援する奈良県対象のご当地検定。「奈良検定」と略称される。奈良ファンや奈良に精通している方々を認定するための検定であり、価値ある観光資源を持つ奈良を理解し、奈良を訪れる人々にその素晴らしさを伝えることのできる人材の養成を目的とする。

基本的な知識水準を「奈良通２級」、高度な知識水準を「奈良通１級」、さらにその上の奈良観光に関する専門的な知識をもつ水準を「奈良まほろばソムリエ」と３段階の階級で実施。今年度の合格率は、「奈良通２級」65.9%、「奈良通１級」27.5%、「奈良まほろばソムリエ」20.9%。

http://www.nara-cci.or.jp/narakentei/

今年度永年会員表彰

平成 26 年 6 月 6 日（金）、ホテルフジタ奈良（奈良市下三条町）「ガーデンルーム」で開催された第３回奈良県中小企業診断士会通常総会（参加者：会員 32 名、来賓 8 名、奈良新聞社記者 1 名、計 41 名）の席上にて、永年会員表彰が行われました。今年度は、植田義人会員、久家康男会員の 2 名が受賞され、参加者全員からお二人の功労への温かい拍手がありました。　【文責：松山】

【植田義人会員】

【久家康男会員】

第 23 回診友会開催報告

４月２６日に奈良県診断士会のゴルフコンペ第 23 回『診友会』がとりおこなわれました。今回の参加者は７名で、晴天の中、奈良白鳳カントリー倶楽部で参加者それぞれが楽しくプレーを行い、今回の栄えある優勝は徳南会員、準優勝が梅屋会員でした。
次回、第 24 回秋の診友会は、１０月２９日（水）に開催となっています。＜８月末に再度ご案内予定＞
皆さん奮ってご参加ください。　【文責：松山】

各研究会活動状況

研究会名	会員数	開催頻度	主な活動内容	入会申し込み先
企業内診断士研究会 【代表者：藤井会員】	13 名	3か月に1回 原則土曜日 午前中	メンバーのコンサルスキル向上と実務ポイント獲得を目的とした活動を行っている。今年度は奈良県図書情報館のワークショップを継続実施する予定。	藤井 f2141@pastel.ocn.ne.jp
ホームページ活用研究会 【代表者：渡辺武久理事】	8 名	随時	ホームページの環境が多様化し、単にHPの作成や活用だけでは時代の波にとり残される。もっと幅広く、ウエブサイトの活用という観点からの研究会とすべく企画中である。	渡辺 fwkz5706@nifty.com
企業再生・事業承継研究会 【代表者：須崎会員】	7 名	2か月に一度 （適時）	・情報交換会の開催 ・スキルアップのための基本的事項の確認	須崎 yasuhiro.susaki@gmail.com

企業内診断士研究会
4 月 12 日　例会風景

研究会名	会員数	開催頻度	主な活動内容	入会申し込み先
国際化診断研究会 【代表者:山西会員】	5 名	適時	中小企業の海外販路開拓、海外進出について可能性診断、調査、助言、業務委託等	山西健市 ymc01@kcn.jp 090-9619-8249
セミナー研修研究会 【代表者:徳南会員】	8 名	適時	相互啓発による研修講師としての資質の向上 オリジナルな研修コンテンツの開発 セミナー・研修の実施	徳南 koro-t@mri.biglobe.ne.jp
奈良活性化研究会 【代表者:北川理事】	約 50 名	原則として隔月	例会として、ゲスト講師による講演・セミナーを開催 今年上半期の開催日と講演テーマは次のとおり ・1 月 25 日　整備新幹線と並行在来線の話 ・3 月 22 日　平成 26 年度の中小企業支援事業の解説と奈良県中小企業診断士会の役割の考察 ・5 月 31 日　奈良の観光活性化を目指して	北川　裕康 mckenzie@kcn.ne.jp

奈良活性化研究会
5 月 31 日　例会風景

奈良活性化研究会
5 月 31 日　懇親会風景

新入会員自己紹介コーナー

◆ *2013 年 12 月以降現在まで、5 名の方が入会されまして、2014 年 7 月末時点での会員数は 75 名となっています。*

【50 音順】

ふりがな		こまい　ひろみつ
名前		駒井　宏充
連絡先	Tell	0744-24-7322
	Fax	0744-24-7322
	Mail	komai@osakagas.co.jp
勤務先		大阪ガス LPG 株式会社
登録年度		平成8年
転入の場合は前支部名		大阪支部（診断士登録当初数年間）
		奈良県生まれの奈良県育ちです。何か少しでも地元奈良のお役に立てることができればと思い入会させていただきました。 よろしくお願い致します。
特技		特になし
趣味		サウナ　ドライバーの飛距離を伸ばすためのスポーツジム通い　フルマラソンを走ること　パン屋巡り

ふりがな		ともり　のぶあき
お名前		戸森　宣昭
ご連絡先	Tell	090-2107-3956
	Fax	―
	Mail	tomori@nike.eonet.ne.jp
登録年度		平成 26 年
		前職のシステムエンジニアとして培った技術や財務会計に関する知識を活かし、奈良の発展に貢献できればと考えております。今後ともよろしくお願い致します。
特技		―
趣味		読書(主にミステリー小説)

ふりがな		なかにし　じゅんや
お名前		中西　淳也
ご連絡先	Tell	0743-87-0562
	Fax	－
	Mail	mxcpc955@yahoo.co.jp
勤務先		大和信用金庫
登録年度		平成 26 年度
抱負		平成 26 年度に登録となりました。中小企業診断士としてはまだまだ勉強不足で分からないことばかりですが、いろいろとご指導いただきながら成長していければと考えています。よろしくお願いいたします。
趣味		釣り　ゴルフ

ふりがな		ほのべ　すすむ
お名前		保延　薦
ご連絡先	Tell	0743-85-7807
	Fax	0743-85-7806
	Mail	honobe@tkcnf.or.jp
勤務先		保延薦税理士事務所
登録年度		平成23年度
抱負		26 年 3 月まで、日本政策金融公庫中小企業事業に勤務し、4 月に脱サラしました。大阪府中小企業再生支援協議会のサブマネを受任しています。何もわからない 49 歳ですが、よろしくお願いします。
特技		なし
趣味		なし

ふりがな		もりむら　ふみのり
お名前		森村　文則
ご連絡先	Tell	0744-28-3003
	Fax	0744-28-3004
	Mail	info@success-skill.com
勤務先		株式会社奈良経営研究所
登録年度		平成26年度
転入の場合は前支部名		
		長年の勤務経験を生かした経営戦略の策定、労務管理コンサルティングを中心とした経営改善のアドバイスを行います。人事異動を含め勤務経験のある業界は、運輸・流通・行政・経営コンサルティング・社会保険労務士です。
特技		(他の資格として)社会保険労務士
趣味		旅行、スポーツ観戦、スキー

奈良士会行事開催予定

◆ 平成 26 年度「診断助言実務事業」
・A コース：8 月 9 日（土）スタート
・B コース：8 月 9 日（土）スタート
・C コース：8 月 30 日（土）スタート
◆ 第 7 回プロコン育成塾　　8 月 30 日（土）スタート
◆ 平成 26 年度理論政策更新研修　8 月 23 日（土）
◆ 第 24 回　診友会　　10 月 29 日（水）

編集後記

▽　2012年春季号にて電子メディア版として再開して今回で6号目を発刊することが出来ました。会報作成にあたって原稿をご提供いただいた方々に御礼申し上げます。 今年度理事改選が行われ、徳南、藤井理事がご退任されました。　お二方の奈良士会への数々のご貢献に感謝するとともに、新しく副会長になられた渡辺理事、そして岸、本田新理事のご活躍を期待します。「診断なら」も会員の方々のご活躍含め、旬のコンテンツを盛り込みながら良い誌面づくりを心掛けてまいりたいと思っています。今後とも各種情報提供や寄稿など、士会会員の皆さまのご協力、宜しくお願いいたします。　　【松山】

二月堂より　東大寺と
遠く生駒山を望む
【2014 年　初夏　早朝】
＜撮影：松山＞

〒630 - 8217
奈良市橋本町 3－1
きらっ都・奈良　3 階　302　号
Tel　：0742-20-6688
Fax：0742-20-6788
e-mail：　jsmeca27@m3.kcn.ne.jp

一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
http://www.nara-shindanshi.jp/